

我ら 50 期 ここにあり

ルールやマナーで学校生活を振り返りましょう

時間を守り大切にしましょう。ルールや約束を守り大切にしましょう。学校は学びに来ているのですから学習に必要なものは持って来てはいけません。暴力はいけません。言葉の暴力はいけません。相手の気持ちを考えなさい。今が良かったら良いものではありません。自分が良かったら良いものではありません。自分のクラスだけ良かったら良いものではありません。自分のクラブだけ良かったら良いものではありません。自分の友達だけ良かったら良いものではありません。第一ボタンをとめましょう。シャツをきちんと入れましょう。ブレザーの前のボタンをとめましょう。髪の毛を染めたり色を変えてはいけません。ツーブロックや奇抜な髪形をしてはいけません。眉毛を変形させてはいけません。化粧をしてはいけません。アイプチをしてはいけません。ピアスをしてはいけません。スカートを短くしたりズボンをずらしてはいけません。靴はかかとを踏まずに履きましょう。ベル着・忘れ物〇・私語〇。提出物を期限を守って出しましょう。出されたものはきれいに頂きましょう。挨拶をしましょう。返事をしましょう。言葉遣いに気をつけましょう。目つきや態度に気を配りましょう。

5つの承認

人間は、認め合い助け合って生きていかないと成り立たない生き物です。どんな物でも



5つの承認

人間は、認め合い助け合って生きていかないと成り立たない生き物です。どんな物でもサービスでも誰かが作り、運営しているから成り立っています。そこには必ず誰かに喜んでもらいたい、多くの人に認めてもらいたい、という気持ちが少なからずあります。そんな「承認」について深く考え、日常的にお互いを承認できるようにしていきたいものですね。

- (1) 結果承認…ある行ったことからにより生まれた成果を承認すること。自分に自信がわいてきます。自分以外の賞罰に関係なく、自分で課題を見つけ克服していけるようになります。
- (2) プロセス承認…例え成果にならなくても成果に至るまでのプロセス（過程）を承認すること。小学生以上（プロセスや結果に承認が行われる年齢）受験に受かる⇒喜ばれる、コンクールで優勝する⇒褒められる、部活で準々決勝敗退⇒プロセスを認められる。▽プロセス・結果承認は大人になってもずっとある承認です。プロセスも結果も承認がないと、モチベーションが上がリません。
- (3) 行動承認…プロセスまでは考えていないが、行動したことに対して承認すること。3歳～小学校以上（人生において最も行動承認が行われる年齢）お手伝いをする⇒感謝される、勉強をする⇒褒められる、喧嘩する⇒場合によっては仲裁。▽この時期は主に自分の行動を見てもらえると感じられる時期です。
- (4) 意識承認…行動にも示していないが、持っている意識・思考に対して承認すること。2～5歳（人生において最も意識承認が行われる年齢）反抗する⇒気持ちを代弁する、先読みして持ってくる⇒お礼を言う、泣くのをこらえる⇒どうしたのかと聴く。▽この期間は自分の内面を理解してもらっていると感じられる時期です。
- (5) 存在承認…まだ意識もしていないようだが、その場にいること自体を承認すること。0～5歳（人生において最も存在承認が行われる年齢）〈左が子ども⇒右が親〉、泣く⇒来てくれる、笑う⇒笑顔になる、叩いてみる⇒反応してくれる、▽この期間は自分がここに産まれてきてよかったと感じられる時期です。